

連続講演会リスト

※2009年以前は学会60年の歩みに記載されております

2024年度 教育学・博物館学会企画 『伝えることを学問する』		
1	東京女子大学教授 河野 誠哉	大正新教育とその遺産
2	東京女子大学教授 大家 まゆみ	学校のユニバーサルデザインーSDG 4 「質の高い教育をみんなに」を実現するためには
3	東京女子大学准教授 竹内 久顕	戦争体験をどう伝えるかー平和教育の課題と方法を考える
4	東京女子大学教授 高橋 修	日本映画界黎明期における特殊撮影技術
2023年度 数学会企画 『神秘的な数学の世界』		
1	東京女子大学名誉教授 大阿久 俊則	代数解析学の考え方とその応用ー微分方程式と超関数と確率分布
2	東京女子大学名誉教授 宮地 晶彦	フーリエ解析とその応用
3	早稲田大学教授 谷山 公規	知恵の輪のトポロジー
4	東京医科歯科大学名誉教授 清田 正夫	有限群とその表現
2022年度 日本文学部会企画 『読む×見るー日本のマンガ・アニメにおける文学表象ー』		
1	東京女子大学教授 原田 敦史	「敦盛最期」を読む／見るー『平家物語』の原作とアニメー
2	東京女子大学教授 光延 真哉	マンガ・アニメに視るカブキ的表象ー『ONE PIECE』を中心にー
3	東京女子大学講師 大橋 義武	中国古典文学の“名場面”の描き方ー横山光輝『三国志』を中心にー
4	専修大学教授 米村 みゆき	“視覚的叙述”としての戦争ー宮崎駿『ハウルの動く城』を中心にー
5	愛知淑徳大学助教 押山 美知子	『風立ちぬ』における女性像のバリエーションー「風」との関係を中心にー
2019年度 外国語部会企画 『映像を通して知る言葉の世界』		
1	有限会社西ヶ原字幕社代表 林原 圭吾	体験・映像翻訳の世界
2	東京女子大学非常勤講師 土合 文夫	レニ・リーフェンシュタールの映画
3	放送大学教授、東京大学名誉教授 野崎 歓	映画、夢のリアリズム
4	神奈川大学助教、字幕翻訳家 秋山 珠子	闇に浮かぶ光

5	Action Inc.代表 比嘉 世津子	世界を揺るがすスペイン・ラテンアメリカ映画
2018年度 コミュニケーション部会企画 『コミュニケーションをデザインする』		
1	東京女子大学教授 渡辺 隆行	情報デザイン入門
2	東京女子大学教授 小田 浩一	心理学と情報デザイン
3	千葉工業大学教授 山崎 和彦	情報デザイン 3,0
4	専修大学教授 上平 崇仁	当事者参加型デザイン
5	東京女子大学教員によるパネルディスカッション 小田浩一、加藤尚吾、白銀純子、渡辺隆行	コミュニケーションをデザインする
2017年度 史学部会企画 『歴史の中のLGBT』		
1	性社会文化史研究者・明治大学非常勤講師 三橋 順子	『あいまいな性』への抑圧は文明開化から始まった ージェンダー&セクシュアリティの枠組の変化ー
2	福岡大学教授 星乃 治彦	LGBTを語る ー生の多様性のなかでー
3	同志社大学准教授 石井 香江	記憶とジェンダーのポリティクス ー『エマーとジャガー』を事例に考えるー
4	立教大学教授 松原 宏之	愛と市民 ー共和国アメリカのつくりかたー
2016年度 経済学部会企画 『経済のグローバル化と経営』		
1	(株)エッグセレント取締役COO 本学卒業生 神宮司 希望	国際線客室乗務員から起業家へ ー海外の「朝文化」を日本へー
2	全日本空輸取締役専務執行役員 河本 宏子	ANAの挑戦 ～一人ひとりが輝く企業へ～
3	観光庁長官 田村 明比古	観光先進国を目指して
4	淑徳大学教授 廻 洋子	国際観光振興の現状と課題
5	茨城大学准教授 本学卒業生	グローバル経済下のアジア ーバングラデシュの縫製産業と日本企業ー
2015年度 健康・運動科学部会企画 『健康のための運動・スポーツ』		
1	一橋大学名誉教授 高津勝	現代社会と身体 ースポーツへの期待と不安ー
2	(株) office 3.11 代表取締役 井出留美	一生太らない生き方 ー普通に食べてスリムになる方法ー
3	東京工業大学名誉教授 石井源信	心身の健康と運動・スポーツ

4	奈良女子大学名誉教授 平井タカネ	からだの声を聞く ―心育ての道しるべ―
2014年度 心理学部会企画 『心と時間』		
1	東京女子大学教授 田中 章浩	こころの中の時間のゆがみ ―認知心理学からみた時間―
2	中央大学教授 都筑 学	青年は今ここから未来をめざす ―青年期の時間的展望―
3	東京女子大学教授 前川 あさ美	心の痛みと時間
4	東京女子大学教授 柴山 雅俊	離人症 ―「現在という場所」から考える―
5	東京女子大学教授 工藤 恵理子	メンタル・タイムトラベル ―来予測と過去想起の社会心理学―
2013年度 言語学部会企画 『ウェルフェア・リングイスティクス―人々の幸せにつながる言語学』		
1	広島市立大学准教授 岩田 一成	公文書の「やさしい日本語」化について考える
2	関西学院大学教授 オストハイダ、テーヤ	コミュニケーションの社会心理学― 「外国人」「車いす使用者」に対する言語行動をフィールドに―
3	国立国語研究所特任助教 竹田 晃子	災害時の医療現場向け方言手引き―方言を知る・地域を知る―
4	淑徳短期大学講師 打浪(古賀) 文子	障害と言語の関係性―知的障害者への情報伝達の事例を中心に―
5	うちなーぐち／沖縄語講師 比嘉 光龍	本当は多言語国家日本―琉球諸島の6つの言語、 「琉球諸語」復興活動に携わって―
2012年度 哲学部会企画 『哲学としての3.11』		
1	京都大学名誉教授 加藤 尚武	哲学としての3.11 ―災害論の観点から―
2	本学教授 佐々木 能章	フクシマと福島
3	本学教授 久保 光志	「文明」と「かなしみ」
4	本学教授 森 一郎	原子力をめぐる思考の可能性
5	本学教授 黒崎 政男	リスボンとフクシマ
2011年度 自然科学・情報処理学部会企画 『自然現象をとらえる情報技術と科学』		
1	環境省 那覇自然環境事務所 阪口 法明	生物多様性保全のための情報の収集と利用
2	気象庁 室井 ちあし	気象予報で用いられる数値シミュレーション技術

3	海洋研究開発機構 福井 義成	地球シミュレーターと産業利用
4	海洋研究開発機構 中村 武史	地震研究の最前線～波形解剖から地下の謎を解き明かす～
5	国立成育医療研究センター兼理化学研究所 中村 京子	甘くない糖：血液型の話
6	東京大学 医科学研究所 井元 清哉	ヒトゲノムと医療とスーパーコンピューター
2010年度 社会学部会企画 『生と死の人間学 ―少子高齢社会を生きる』		
1	中央大学教授 山田 昌弘	少子高齢社会の課題
2	東京大学専任講師 星加 良司	障害と新しい「自立」のかたち
3	お茶の水女子大学名誉教授 袖井 孝子	子どもに命の大切さをどう伝えるか
4	東洋大学教授 井上 治代	お墓からみた家族論
5	筑波大学名誉教授 副田 義也	生と死の人間学